

1 審議会名 上田市塩田公民館運営審議会
2 日 時 平成29年6月6日 午前10時00分から午前12時00分まで
3 会 場 塩田公民館第1学習室
4 出席者 宮原会長、小林副会長、片桐委員、西澤委員、室賀委員 ・欠席者 なし
5 市側出席者 土屋館長、堀内次長
6 公開・非公開等の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者 0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日 平成29年6月6日

協 議 事 項 等

- 1 開 会
2 あいさつ(宮原会長、土屋塩田公民館長)
3 審議事項
(1)平成29年度公民館事業について
(事務局)資料に基づき説明
(委員)特段なし
(2)信州型コミュニティスクールでの塩田公民館の役割について(諮問)
(事務局)資料に基づき説明
(委員)
ア 学習支援
・小学校では、国語や算数などのドリル帳への丸付けをボランティアにお願いすることが多い。
・放課後、教室で児童の宿題を見るボランティアも欲しい。教えられる方には来ていただきたい。
・特別支援教室では、大学生の支援を受けている学校もある。専門的知識云々よりも、まず寄り添いが大切である。
・学習指導要領が変わり、小学校でも英語学習をすることになり、先生方はますます多忙となる。
・公民館で常時ボランティアを募集してもらうなど、学校は地域の力を借りることが必要である。
・まずは地域の人たちに入ってもらい、試行錯誤しながらとにかく行ってみることが大切である。
イ 見守り隊
・不審者と間違われる危険性もあり、難しくなってきたのが最近の実態である。
・親や祖父母による学校への送迎は、子どもや孫が心配だから行っている場合が多いと思う。
ウ 部活動指導
・中学校の先生は、授業や部活動などでかなり忙しい様子。地域には、部活動を補完できる外部指導者としての人材が少ないと思われる。
エ その他
・子どもが中学校を卒業してしまうと、学校の情報はほとんど入ってこなくなる。学校の情報を地域に流すことが、ボランティア参加を促すことにつながるのではないかと。
・公民館は、地域での人材発掘や情報共有に努めるとともに、地域と学校とのマッチング(橋渡し役)を行う役割をさらに担っていくことが大切である。
オ 審議結果
・今回、公民館からの諮問を受け、学校の先生や評議員、PTAの役員などにアンケート調査を実施し、9月頃に開催する2回目の審議会で論点整理していく。
- 4 その他 なし
5 閉 会